

# 「事業名:会津大学 浜通りロボット人材育成事業」 2019年度事業の概要

**会津大学 連携市町村:南相馬市**

**現地拠点:南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-112テクノアカデミー浜(情報処理実習室等)**

## 事業のポイント

- 浜通りにおいてロボット産業創生・発展に必要なロボット及びロボットに関連するICT技術を持った人材を育成する。
- ワールドロボットサミット2020に向けて、浜通りチームを編成し、浜通りの産学連携・ロボット技術共有・実習の自主的推進の体制づくりを支援する。
- 人材育成を通じて、RTF(ロボットテストフィールド)を活用する産学連携の基盤づくりに向けた方向性を検討する。

## 2019年度の活動内容

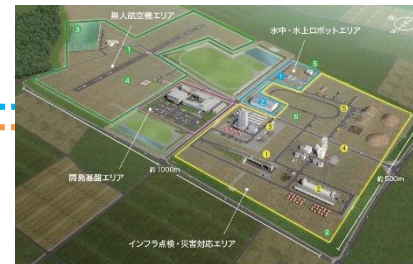
- 高校・専門校生へのロボット技術教育の継続
  - ・2018年度作成のミニスパイダーを用いたさらに高度なロボットソフトウェア技術の習得
  - ・新たなセンサーの活用技術 ・シミュレータの活用
- 南相馬市チームのWRS2020参加支援
  - ・アドバイザーとして南相馬市ロボ協プロジェクトへの参加 ・ソフトウェアの提供
- プログラミング/IoT基礎教育の展開
  - ・高校生など若年層・小中学校の教師などを対象 ・PepperやIoT素材の活用
- 会津大学を始め福島県内外の大学や研究機関の学生・研究者を対象に上記プログラミング/IoT教育講師の育成
- 講師育成を通じて県内大学、試験研究機関等との連携の基盤育成



協定書を交わす門馬市長(右)と副理事長

## 取り組みによって得られる成果

- 若手のロボット人材育成(HW/SW技術・興味の醸成)
- 地元企業・学生のWRS出場に向けたチーム編成
- 南相馬における会津大学活動の基盤となる産学・学生との連携



ロボットテストフィールド(県HPより)

